



田布施中だより

家庭・地域・学校をつなぐ架け橋

令和 8 年
2月27日発行
第 9 号

田布施町立田布施中学校発行

☎ 52-2138

学校評価アンケートの分析と今後の方針

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。アンケート結果のもと、今後の方針についてご説明させていただきます。7月と比べて、全体的に大きな変化はありません。良いところは継続している一方で、なかなか課題解決できていないのも事実です。ぜひ、学校、地域、家庭で連携して、より良い教育活動にしていきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひします。

まずは、今年度、学校で大切にしてきた「感じのいい生徒」の3要素「相手の話を目を見て聴く」、「自分から進んであいさつをする」、「集団で動くときは静かにする」についてです。

① 相手の話を聴くについて 半年前…令和7年7月集計、今…令和8年度1月集計

対象	質問内容	半年前	今
生徒	あなたは、人の話を最後まで聴いたり考えたことを進んで話したりしていますか	98	96
保護者	あなたのお子さんは、人の話を最後まで聴いたり考えたことを進んで話したりしていますか	78	80

<分析・考察> 多くの生徒、保護者が肯定的に評価している。今後も家庭と連携して継続して「人の話を聴くこと」「自分の考えを話すこと」の価値や意義について生徒に伝えていきたい。本校では、授業では、インプット（知る）の時間を極力減らし、アウトプット（話す、表現する等）に時間を費やしている。来年度も授業改善を進めていき、「聞くこと」「話すこと」の価値を実感できる場面、達成感や成就感をもてるような場面を設けるとともに、その場面を見逃さず積極的に評価していけるよう取り組んでいきたい。

② あいさつについて

対象	質問内容	半年前	今
生徒	あなたは、進んで明るく元気なあいさつをしていますか	96	94
保護者	あなたのお子さんは、進んで明るく元気なあいさつをしていますか	79	80

<分析・考察> 「相手の目を見てあいさつをする」を目標にあいさつを徹底し、感じのいい生徒をめざしてきた。日頃から、保護者や地域の方からは「中学生のあいさつが気持ちよい」等、高い評価をいただき、生徒も積極的にあいさつができるようになってきている。この項目について、達成率 100%になることを目標に今後もあいさつの大切さを伝え、実感させていきたい。

③ 集団で動くときは静かな雰囲気を作り出すについて

対象	質問内容	半年前	今
生徒	あなたは、全校集会の入場など、集団を意識して行動するときに、静かに行動していますか	96	97

<分析・考察> 「集団で動くときは、静かに行動する」はおおむねできていることがわかる。1学期と比べても徹底できてきている。今後は、その価値を伝えるとともに、他者意識を高め、他の場面でも他者を大切にしたい行動が増えていくように指導を進めていきたい。

①～③の行動は学校だけでなく、日常でも生徒の行動として表れるものです。感じがよかったときは、学校、家庭、地域ともにしっかり褒めていきたいと考えています。ご協力お願いします。

裏面につづきがあります

続きまして、今年度、課題ととらえて、形を変えながら取り組んできた家庭学習です。

④ 家庭学習について

対象	質問内容	半年前	今
生徒	あなたは、自分に必要な学習を考え、自主的に家庭学習に取り組んでいますか。	72	74
保護者	あなたのお子さんは、自分に必要な学習を考え、進んで家庭学習に取り組んでいますか	61	60

⑤ 学習内容の理解について

対象	質問内容	半年前	今
生徒	あなたは、授業内容が分かっている	95	89
保護者	あなたのお子さんは、授業の内容がよく分かっている	76	70

<分析・考察> 生徒の数値は上がっているものの、4人に1人は家庭学習が定着できていない結果である。今年度は、自主学習で任せるという形ではなく、家庭学習の内容を提示した。1年生は「今日の一問」、2年生は「やまぐちっ子プリント」、3年生は「新研究の冊子のページ数指定」を行ったが、まだ不十分さを感じた。「⑤学習内容の理解について」の調査の通り、各学年学習内容が難しくなっていく中で、生徒たちの学習内容が分からないと感じる生徒が増えている。こちらの確認と徹底を含め、家庭学習が充実できるように提案していきたい。ぜひ、家庭学習について学校・地域・家庭が一丸となって取り組み、生徒の学力を身に付けさせたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

地域連携教育の取組が TV で放送されました

2月15日(日)に山口放送「はつらつ山口っ子」にて本校の地域連携教育について放送していただきました。放送では、「モルック普及活動」の取組や学校保健安全委員会の取組が紹介されました。

本校の地域連携教育の特徴は、たくまるボランティアのように、多くの場面で生徒が活躍できる場を与えていただいていることと、生徒が企画、運営をして、地域を元気にさせたいという取組を行っていることの二つです。この二つの取組は県内でも注目していただき、「はつらつ山口っ子」の放送だけでなく、9月には、県内の「地域協育ネット推進委員研修会」、1月には「地域連携教育再加速フォーラム」の発表校として、推薦をいただきました。

これらの活動は、地域の協力なしで実現できるものではありません。これかも生徒の成長を一緒に見守り、一緒に喜びたいと考えています。よろしくお願ひします。

また、2月23日(祝)にテレビ山口にて、「ふるさとCM大賞」で本校の生徒が制作した「たぶせの当たり前」が放送されました。信号のない横断歩道を渡った後に、感謝の気持ちをお礼で表すことが紹介され、たいへん高評価をいただきました。放送はされませんでしたでしたが、審査員特別賞をいただきました。



「はつらつ山口っ子」は
3月15日(日)10:55~
再放送があります。ぜひご覧ください。